

## 営農指導員のワンポイントアドバイス

番外編

このコーナーは、営農指導員から農業のちよつとしたコツをお知らせしていますが、今回は作った野菜などを出荷できる「産直市」を紹介します。

「食彩館しようばらゆめさくら」  
「朝どり市」へ出荷してみませんか？

食彩館しようばらゆめさくらにある農産物直売所「朝どり市」では、市内で生産された新鮮な農産物や、こだわりの加工品などを販売しています。庄原産の安全・安心な商品は、その新鮮さも相まって消費者の皆さんから大人気です。価格は、生産者が自ら決めることができ、商品に貼るバーコードに生産者の名前が記載されます。「朝どり市」では、現在出荷者を募集しています。家庭菜園で栽培した、少量多品目の農産物でも出荷できますので、出荷を通じて農業所得の向上を目指しましょう。

### 【朝どり市】

営業時間 8時30分～16時

定休日

毎週火曜日、12月31日～1月3日

### 「朝どり市」へ出荷するには

まずはJAひろしま庄原中央アグリセンターにお問い合わせください。入会手続きや出荷方法についてご案内します。

入会金 5千円

販売手数料 売り上げの20%  
商品の搬入など

7時～8時に、「朝どり市」へ直接搬入してください。また、16時以降、売れ残りの引き取りが必要です。

### 出荷に関する問い合わせ

農産物直売所運営協議会事務局  
JAひろしま庄原中央アグリセンター  
☎0824・72・1144



### 問い合わせ

農業振興課農業振興係

☎0824・73・1131

## 庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新たな魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



比和町での暮らしを楽しんでいる  
石田 雅俊さん

本年1月、横浜市から比和町に移住し、地域の人たちと助け合いながら暮らす石田さんに、話を聞きました。

### 妻の祖父に憧れて

広島市で生まれ育った私は高校卒業後、バンドデビューを目指して横浜市に移り住みました。当時はとにかくお金がなかったのでもさまざまな仕事をしました。最近の2～3年間は、介護職員や植木屋のランチャイズ店の店長として、休みなく働いていましたが、忙しい日々と関東の物価の高さに疲れてきていました。

そんな生活をしていたある朝、妻の祖父が突然亡くなったと連絡がありました。祖父は比和町で暮らしており、92歳になっても昼は元気に草刈りをして家を守り、夜は少しお酒を飲んで休む、という生活をしていました。介護の仕事でいろいろな高齢者の人

生を見てきた経験と、自分の生き方や最後を考えた時、自然のまま生きた祖父の一生に憧れました。そして、空き家になっていた妻の祖父母の家に、移住することを決めました。

### 比和での暮らし

本年1月、妻と一緒に横浜市から比和町に移り住みました。仕事は何も決まっていりませんが、町内の介護施設に突撃で電話をし、採用してもらったことができました。また町内の植木職人と知り合うことができ、今は一緒に仕事をさせてもらっています。

比和で暮らしてみて、都会と比べると不便なところはたくさんありますが、その不便さも含めての田舎暮らしだと思っています。だからこそ近所や地域の人たちの助けがないと生きていけません。

地域の皆さんは、私たちが移り住んだことを本当に喜んでくれて、可愛がってくれたので、お願いごとやお誘いには応えたいと思っています。地域のお祭りなどに来る人が増えるように盛り上げたいですし、今後は比和の魅力を発信していくことを考えています。

### 問い合わせ

自治定住課定住推進係

☎0824・73・1257